

多様な交通モードを活用した地域交通政策の取組と郵便局の連携

【地域課題】

前橋市では、マイカーに頼らずに外出できる交通環境の実現に向けて、マイナンバーカードと交通系ICカードを紐づけて様々なサービスや割引を提供する「前橋版MaaS(MaeMaaS)※」の導入を進めているところだが、マイナンバーカードと交通系ICカードの登録連携が行える身近な拠点や、高齢者などへの丁寧な説明やサポートができる人材が求められている。

※：前橋市が実施しているMaaS実証実験。利用者(マイナンバーカードを所有する前橋市民が対象)はスマートフォンから「MaeMaaS」専用サイトにアクセスし、会員登録を行うことで各サービスを利用できる。複数の交通手段を組み合わせた移動方法をリアルタイムで確認できる「リアルタイム経路検索」や、デマンド交通の予約、路線バス・鉄道がそれぞれ1日乗り放題となる「デジタルフリーパス」の販売などを提供。

【実証地域】前橋市内の全郵便局(46局) 【実証期間】2022年11月1日(火)～2023年1月31日(火) 予定

【実証内容】 前橋市が展開する「前橋版MaaS(MaeMaaS)」と協力し、郵便局で交通系ICカードの販売や、交通系ICカードとマイナンバーカードの登録連携のサポートを行う。

【郵便局との主な連携内容】

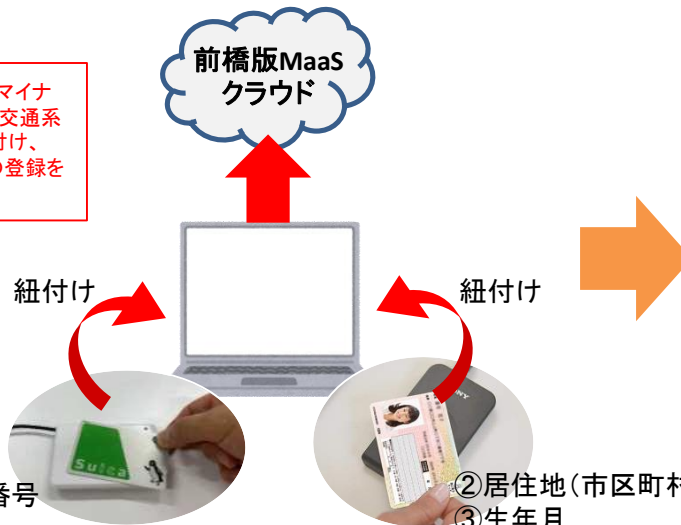
【前橋版MaaSの概要】



郵便局員が、マイナンバーカード・交通系ICカードの紐付け、MaeMaaSへの登録をサポート

Suica マイナンバーカード

①SuicaのID番号



②居住地(市区町村まで)
③生年月



スマートフォンに詳しくない方でも MaeMaaSを活用して、市民割引やオンデマンド交通の予約サービスが利用可能に



オンデマンド交通の予約サービス

ポイント

- ✓郵便局が地域交通サービスの登録連携拠点やサポート拠点となることで、地域住民にとって、オンデマンド交通やシェアサイクル等の多様な公共交通の利便性が向上することにつながる。
- ✓住民に身近な郵便局でマイナンバーカードとの登録連携をサポートすることで、スマートフォンに詳しくない方でも、デジタルサービスによる恩恵(市民割引)を享受することができる。

郵便局を活用した買い物サービス支援の実証(熊本県八代市)

【地域課題】

近隣に小売店が少なく、交通が不便な地域において、オンラインショッピングに馴染みのない高齢者や運転免許返納者を中心に日用品等の買い物が困難となっている。

【実証地域】熊本県八代市内の郵便局

【実証期間】2022年12月1日(木)～2023年2月28日(火)

【実証内容】

少子高齢化の進展や運転免許返納などによる買い物困難者を対象に、買い物サービス「やつしろonlineストア」を開設した。住民にとって身近な郵便局等に注文用のタブレットを設置し、郵便局員等がサポートを行うことで、オンラインショッピングの支援を行った。買い物支援センター(事務局:神園交通)が、注文を受け、地元小売店から商品を購入、梱包の上、ゆうパックで配達した。



ポイント

✓近隣に小売店が少ない地域において、郵便局がオンラインショッピングの操作をサポートすることにより、高齢者も気軽にオンラインショッピングが可能となり、生活の利便性が向上することが期待される。

総務省「令和4年度 郵便局等の公的地域基盤連携推進事業」 中山間地域における郵便局のドローンの公的活用

【地域課題】

交通手段が乏しく人口減少・高齢化も進行する中山間地域においては、土砂崩れにより唯一の物資輸送経路である道路が寸断されるなど、災害時の物資輸送経路の確保が課題となっている。日本郵便株式会社がドローンによる郵便物等の配送の実用化に向けた取組を進めており、郵便局のドローンを活用して、災害時の支援物資輸送や災害状況確認を行うことが期待されている。

【実証地域】三重県熊野市 紀和町(入鹿郵便局) 【実証時期】2022年12月

【実証内容】日本郵便が実施するドローンによる郵便物などの配送の試行*の実施期間中に、災害時に道路が寸断されたことを想定して、郵便局のドローンにより、衛星携帯電話や食料品等の支援物資の輸送や、ドローンに搭載されたカメラによる道路の災害状況の確認に向けた試験的運航を実施。

※：中山間地における省人化配送モデルの検証を行うため、2022年12月5日(月)～12月23日(金)(予定)の期間において、入鹿郵便局(三重県熊野市)配達区内において配送先地区に居住する受取人宅および受取人宅近隣の配送ポイントに向け配送を行うもの。

【実証地域】



- 三重県熊野市木津呂地区
- ・ 木津呂地区は、10世帯程度が居住。
 - ・ 地区外に通じる道は1本のみ。
 - ・ 過去には土砂災害により約2週間孤立したこともあった。

【実証イメージ】

災害時の衛星携帯電話や食料品等の支援物資の輸送や、
搭載カメラによる道路の災害状況の確認等を想定



離発着場：木津呂地区公民館駐車場

(画像提供：日本郵便)



- 飛行距離 往復6km弱
- 飛行時間 約15分間
- ドローン飛行レベル3
(無人地帯での目視外飛行
(補助者の配置なし))



ポイント

- ✓ 郵便局のドローンを自治体の要請に応じて運用可能。
- ✓ 災害発生時における孤立地域の通信手段確保・災害状況確認の方法としてドローンを活用することで、災害に強い地域づくりに繋がる。